

報告5

平成27年度
木質バイオマス利用支援体制構築事業成果報告会


相談・サポート体制の確立支援 成果報告

2016年3月10日

一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会

川越裕之

◎相談・サポート体制の確立支援事業(主な事業内容)



(1) 相談窓口による支援

- ①ヘルプデスク(相談窓口)による相談対応
- ②事務所・現地における専門家による助言

(2) 木質バイオマス情報の発信

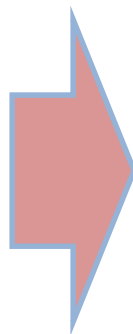
- ①ホームページの充実
- ②木質バイオマス関連資料の作成(品質規格・施設導入ガイドブック 等)
- ③木質バイオマス利活用セミナーの開催

(3) 小規模木質バイオマス発電・熱電併給支援事業の実施

- ①専門委員会による助言と技術交流
- ②技術者の派遣

◎ヘルプデスク（相談窓口）

木質バイオマス利用による発電
や熱供給の振興を推進する
「(一社)日本木質バイオマスエ
ネルギー協会」内に相談窓口を
設置



・木質バイオマス利用における
専門的な知見・ノウハウによる
対応を実施
・協会会員の持つ技術・経験、
ネットワークを活かしたサポート

相談内容に応じて、

- ・技術者派遣を現地派遣
- ・事務所にて、面談によるヒアリング
- ・日本木質バイオマスエネルギー協会会員との連携により、専門的なアドバイス等、相談者のニーズに対応した、木質バイオマス利用を支援

※平成25年度6月から相談窓口を開設

→今年度も4月から相談窓口による、電話・メール等による、相談業務を実施

◎ヘルプデスク（相談窓口） 窓口実績

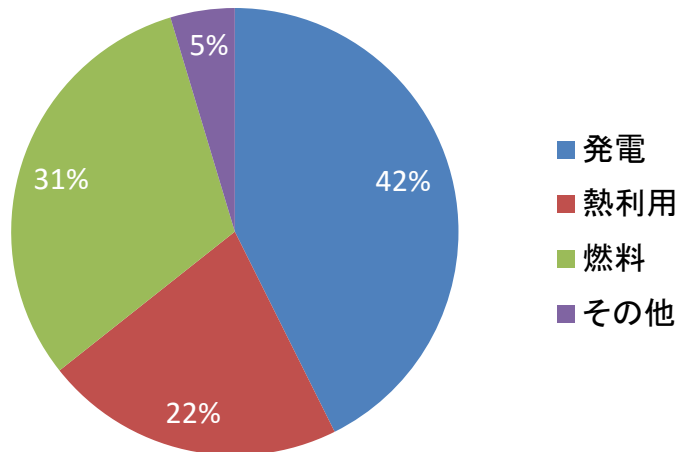
問い合わせ件数: 367件

(H27年4月1日～H28年2月19日時点)

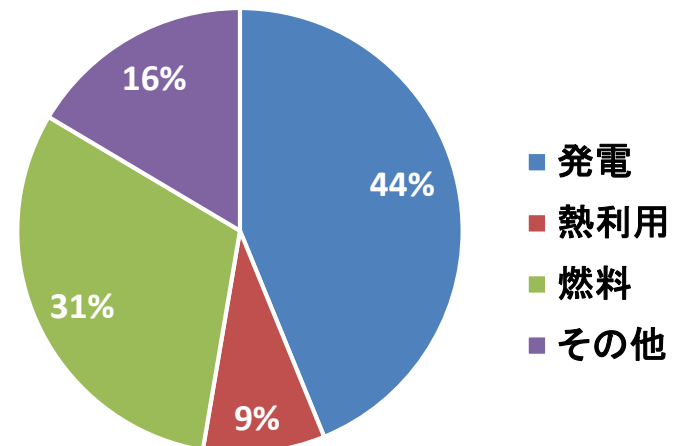
- 問い合わせ件数は、昨年度の成果報告会時点から、約2倍増となった。
※昨年度の問い合わせ件数: 192件(H26年4月1日～H28年1月30日)
- 問い合わせ内容は、「発電利用」「燃料供給」に関する相談が全体の75%を占めた。
→ 一方、熱利用に関する問い合わせは減少(昨年度 22% → 9%)

相談内容(前年度との比較)

平成26年度



平成27年度



※ヘルプデスクに寄せられた電話・メール・事務所での相談対応・現地視察の件数すべてを含む件数

◎ヘルプデスク（相談窓口） 窓口実績

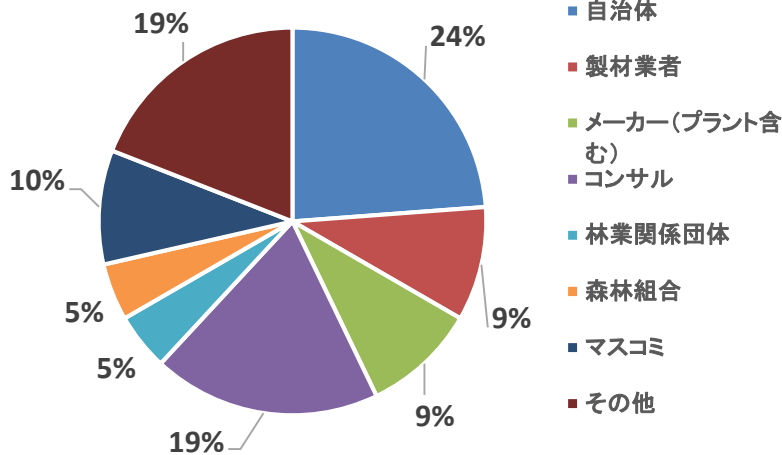
問い合わせ件数: 367件

(H27年4月1日～H28年2月19日時点)

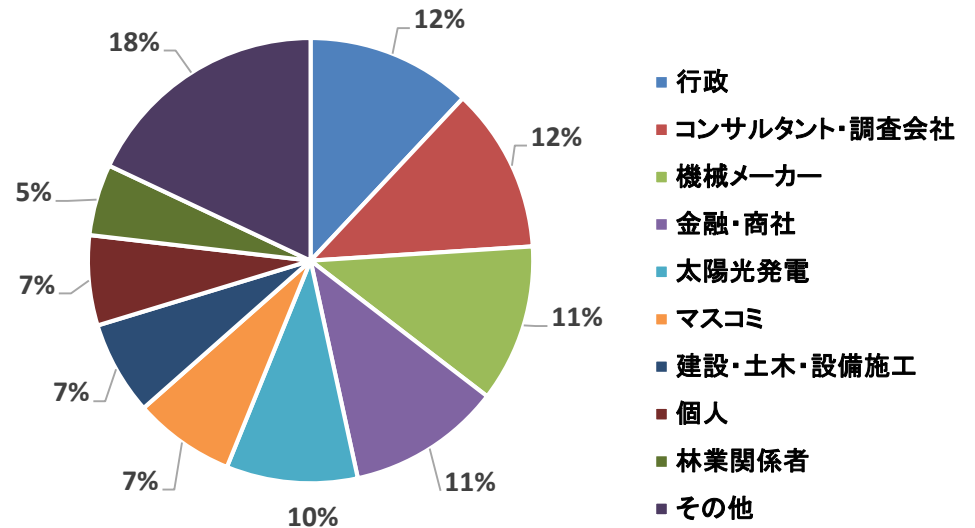
- 相談者の業種別では、自治体からの相談数はほとんど変わっていないが、民間企業(コンサルタント・調査、金融・商社、メーカー、太陽光発電事業者等)からの問い合わせが増えた。

相談者業種別(前年度との比較)

平成26年度



平成27年度



◎ヘルプデスク(相談窓口) 相談の傾向

木質バイオマス発電

○小規模木質バイオマス発電に関連する問い合わせが急増

- 小規模木質バイオマス発電**機器のメーカー(国内・国外)**を紹介してほしい。
- 小規模木質バイオマス発電を行っている、**先進事例について**教えてほしい。
- **導入費用や採算性**についても、教えてほしい。

○相談窓口発足当時と比較して、専門的な問い合わせや技術面に関する問い合わせが増加。

- 木質バイオマス発電の**発電所別・規模別の実績データ**を取りまとめられているようであれば、提供していただきたい。
- 木質バイオマス発電に関わる、**法令対応(電気事業法、大気汚染防止法、廃棄物処理法など)**について教えてほしい。

◎ヘルプデスク(相談窓口) 相談の傾向

木質バイオマス熱利用

○発電とのコージェネレーション利用に関する問い合わせが顕著

- 小規模木質バイオマス発電と熱電併給する場合、熱利用先としての候補として、どのような施設が想定されるのか。実績がある施設を教えてください。
- 木質バイオマス発電の排熱利用の事例について、具体的な事例があれば教えてください。
- 熱利用を行った場合の導入費用や採算性、熱販売価格の考え方はどのように考えればいいのか。

○地域熱利用を想定する問い合わせがみられる

- 熱利用をメインに導入を検討した場合、どのような事業、施設の導入を検討すべきか。
- 農業用ハウスにて熱利用を行う場合のシステムや課題について、どのように考えればいいのか。

◎ヘルプデスク(相談窓口) 相談の傾向

木質バイオマス燃料

○発電利用に供する木質バイオマスのガイドラインに関する問い合わせが急増

- 木質バイオマス証明書の発行の考え方(必要書類、手続き等)について、教えてほしい。
- 発生する木質バイオマス(例:きのこの菌床、剪定枝、支障木、枝葉)の木質バイオマス証明はどのようなになるのか。
- 木質バイオマス証明を発行する団体を教えてほしい。

○海外からの燃料の輸入に関連する問い合わせが急増

- 海外(東南アジア、中米、東アジア等)から木質バイオマス燃料を輸入するので、木質バイオマス発電所を紹介していただけないか。
- 海外燃料を輸入する際に、発電利用を想定しているが、木質バイオマス証明書の取得方法について、どのような対応が必要なのか。

◎木質バイオマスエネルギー利活用セミナーの開催

目的

相談窓口のPR、木質バイオマス関連施設の導入促進等を目的として、木質バイオマスのエネルギー利用に積極的な自治体等と連携して、全国8か所程度でセミナーを開催。

特に、今年度は、地域団体と連携して実施することで、地域ネットワークのハブを形成する契機とする。

内容

- ❑ ①最新動向の情報提供(全国講師)、②各地の実践発表、③ワークショップを基本要素として実施。地域によっては、オプションで現地見学を実施。
- ❑ 最新動向の紹介等については、日本木質バイオマスエネルギー協会の会員が、講師を担う。
- ❑ 各地でモデル事業の取組を発表してもらう。
- ❑ ワークショップは、ネットワーク形成を目的として実施。

◎木質バイオマスエネルギー利活用セミナーの開催

◎全国8ヶ所で開催

地域	日時	会場	共催	参加者数
北海道	平成27年12月7～8日	北海道帯広市	北海道再生エネルギー 振興機構	85名
東北	平成28年2月6日	山形県鶴岡市	やまがた自然エネルギー ネットワーク	100名
関東甲信越	平成27年11月16～17日	山梨県甲府市	やまなし木質バイオマス 協議会	100名
中部	平成28年2月2日	岐阜県岐阜市	岐阜県森林技術開発・ 普及コンソーシアム	100名
北陸	平成27年12月7日	福井県福井市	あわら三国バイオマス 事業協議会	65名
近畿・中国	平成28年3月17日	兵庫県神戸市	兵庫県	200名
四国	平成28年1月26～27日	愛媛県内子町	愛媛県	80名
九州	平成28年2月26日	福岡県福岡市	九州バイオマスフォーラム	100名

◎木質バイオマスエネルギー利活用セミナーの開催

講演内容(概要)

○木質バイオマスエネルギーの現状と課題

- ❑ 日本木質バイオマスエネルギー協会の理事・会員による講演
- ❑ 国内における木質バイオマスエネルギーの利用状況やFIT制度の状況、発電・熱利用の事例等についての紹介

○木質バイオマス導入に関わる事例紹介

- ❑ 地元地域における木質バイオマス導入事例を紹介
- ❑ 他の地域で、木質バイオマスエネルギー利用に取り組まれている方からの講演を実施

○ワークショップ・オプションツアーの実施

- ❑ 講演終了後に、講演者・参加者によるワークショップを実施
(地域によっては、木質バイオマスの相談会、参加者による懇親会等を実施)
- ❑ 地域によっては、セミナー前後にオプションツアーを実施し、参加者とともに、木質バイオマスの現地視察を実施
 - ・北海道・・・自治体における木質ペレットボイラー施設の見学
 - ・山形・・・小規模木質バイオマス発電施設の見学
 - ・山梨・・・民間施設に導入された木質バイオマスボイラー(熱利用)の見学 等

※講演内容は、ホームページにて掲載予定

◎木質バイオマスエネルギー利活用セミナーの傾向・成果

○地域の状況に根差した、地域活性化型の講演・情報提供

これまでは、国内における木質バイオマスの発電・熱利用状況と導入方法や最新情報の提供がメインだった。

地域で活動する団体が共催したことにより、地域の課題を踏まえた上で、地域に適した木質バイオマスの導入についての講演を実施することとなり、より地域における導入可能性を広げられるセミナーを実施できた。

○ワークショップ等による参加者間での情報交換、認識の共有化

これまでは、当協会が講演した後、希望者のみ現地相談にて対応。

木質バイオマスについて、積極的に取り組もうとする参加者からの意見や考えが出されることで、主催した団体や参加者間で共通認識ができ、今後の活動の発展する可能性を提示できた。